

Muribushi

群★星

2002年11月号 沖縄総合事務局 局報／第284号

隔月発行【むりぶし】

特 集

うちなーのみじ

～水資源開発と流域連携について～

「ワン切り」に注意！

2002
November

11 月号

就任ご挨拶	沖縄及び北方対策担当大臣 細田 博之	①
プロフィール	大臣 細田博之 / 副大臣 米田健三 / 政務官 大村秀章	②
巻頭言		
今・昔の普天間	～新しいまちづくりを目指して～ 東京大学大学院教授	③
その1		
うちなーのみじ	～水資源開発と流域連携について～	④
特集		
その2		
「ワン切り」に注意！		⑧
① 11月は下請取引適正化推進月間です		⑩
② 管内経済情勢報告		⑪
③ 21世紀土地改良区創造運動について		⑫
④ 伝統的工芸品月間推進国民会議全国大会		⑬
⑤ 守ろう地球オゾン層		⑭
⑥ 「沖縄美ら海水族館」オープン！		⑮
⑦ 一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー）に係る 緊急調整地域の限定について		⑯
トピックス 【局の動き】	細田博之沖縄及び北方対策担当大臣が就任後初来沖 「松食い虫ゼロ大作戦」始まる 平成14年度経済産業省所管統計調査功績者表彰状の伝達 平成14年度全国道路標識週間の実施 「第11回アジア地域土木研究所長等会議」開催 平成14年度船員労働安全月間の実施	⑱
随筆・提言		
メディア活用戦略も一考	琉球朝日放送報道制作局 次長	⑳
お知らせ / 編集後記		㉑



【表紙解説】

玉陵は、一五〇一年、尚眞王が父尚円王の遺骨を見上森陵から改葬するために築かれ、第二尚氏王統の陵墓となりました。墓室は三つに分かれ、中央の中室は洗骨前の遺骸を安置する部屋、創建当初の東室（写真左）は洗骨後の王と王妃、西室には墓前の庭の玉陵碑に記されている尚眞王などの限られた家族が葬られました。全体のつくりは、

当時の板敷き屋根の宮殿を表した石造建造物で、墓域は二四四二平米になっています。沖縄戦で大きな被害を受けましたが、一九七四年から三年余りの歳月をかけ修復工事が行われ、往時の姿を取り戻し、二〇〇〇年十二月二日、首里城などとともにユネスコの世界遺産に登録されました。

沖縄美ら海水族館シリーズ①

建築面積：10,000m²
延床面積：19,000m²
全体水層容量：約10,000t
最大水層容量：約 7,500t





就任ご挨拶

沖縄及び北方対策担当大臣

細田 博之

この度沖縄及び北方対策担当大臣を拝命した細田博之でございます。私は通商産業省に勤務していた時代から沖縄との関わりがありましたが、特に父の細田吉蔵が佐藤内閣総理大臣の下で総理府総務副長官を務めた際、沖縄復帰に向けて活動をしていたということ为先日父から詳しく聞き、親子二代にわたって総理の膝元で沖縄に関わる仕事をさせていただくご縁ができたことを大変嬉しく思っております。

沖縄は本年復帰三十周年という節目の時期であるとともに、二十一世紀における新たな発展に向けて自立型経済を構築し飛躍しようとする重要な時期を迎えております。この時期に沖縄及び北方対策担当大臣の職に就任したということは、大変光栄であるとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いがしております。

沖縄が本土に復帰して以来、政府は三次にわたる振興開発計画を策定し、これに基づき総額約七兆円の国費を投入し各般の施策を積極的に講じてまいりました。その結果、県民の皆様のたゆまざる御努力と相まって、社会資本の整備は大きく前進し、沖縄の経済社会は総体として着実に発展してきたところであります。

しかしながら、沖縄は、今なお広大な米軍施設・区域が存在するとともに、交通の円滑化、水の確保、街づくり、環境衛生など様々な分野で整備を要するものがみられ、さらに産業振興や雇用創出の問題など今なお解決しなければならぬ多くの課題を抱えております。こうした沖縄の抱える諸問題の解決は、申すまでもなく現内閣においても引き続き重要課題であります。

私といたしましては、本年三月に成立した二十一世紀の沖縄の新たな発展を目指す制度的なインフラとも寺口うべき沖縄振興特別措置法と、これに基づく新たな沖縄振興計画や分野別の諸計画をいかにして、自立型経済の構築等に向けて、観光・リゾート産業や情報通信関連産業をはじめとする産業の振興、科学技術の振興、人材の育成など、沖縄の新たな振興・発展に沖縄県や市町村と一体となつて積極的に取り組んでまいりたいと考えております。特に、尾身前大臣が提唱された沖縄新大学院大学構想については、アジア太平洋地域の先端的知的クラスターとして沖縄が発展していく上で大変重要なプロジェクトであると考えており、私としても尾身前大臣の取組を引き継いでその実現に向けて全

力で取り組んでまいる所存であります。

また、沖縄における米軍施設・区域の存在が、我が国のみならずアジア・太平洋地域の平和と安定に貢献している一方で、沖縄県民の皆様には大きな御負担をおかけしているということは私も十分認識しております。県民の皆様の御負担を軽減すべく、SACO最終報告を踏まえ、米軍施設・区域の整理・統合・縮小に引き続き全力で取り組んでまいります。特に、普大間飛行場の移設・返還につきましましては、普大間飛行場の移設に係る政府方針及び「普大間飛行場代替施設の基本計画」に基づき、沖縄県及び地元地方公共団体と引き続き十分な協議を行いつつ、その着実な推進に全力で取り組んでまいる所存であります。

最後に、私は、沖縄及び北方対策担当大臣として、県民の皆様への思いを一步一歩実現していくことが自らの責務であると考えており、沖縄のためにご尽力された歴代の沖縄開発庁長官、沖縄及び北方対策担当大臣等多くの方々の情熱、熱意をしっかりと引き継ぎ、沖縄の新たな発展に向けて精一杯努力してまいる決意であることを申し上げて、私の挨拶といたします。

沖縄及び北方対策担当大臣に

細田博之 氏が就任



平成十四年九月三十日
付けで沖縄及び北方対策
担当大臣、科学技術政策
担当大臣、情報通信技術
(ＩＴ) 担当大臣に細田
博之氏が就任された。

平成二年衆議院議員選
挙で初当選。平成三年衆
議院環境委員会理事、平
成六年経済企画政務次官・
平成七年衆議院運輸委員
会理事、平成十一年通商
産業総括政務次官、平成
十三年衆議院予算委員会
理事等を歴任。

島根県出身五十八歳

内閣府副大臣に

米田建三 氏が就任



平成十四年十月二日付
けで内閣府副大臣（沖縄
及び北方対策担当）に米
田建三氏が就任された。

平成五年衆議院議員選
挙で初当選。平成六年衆
議院地方行政委員会理事・
平成十一年北海道開発総
括政務次官、平成十三年
防衛庁長官政務官、同年
衆議院外務委員会理事、
平成十四年衆議院議院運
営委員会理事等を歴任。

長野県出身五十五歳

内閣府大臣政務官に

大村秀幸 氏が就任



平成十四年十月四日付
けで内閣府大臣政務官（沖
縄及び北方対策担当）に
大村秀幸氏が就任された。

平成八年衆議院議員選
挙で初当選。平成十三年
衆議院国土交通委員会理事、
同年経済産業大臣政務官、
平成十四年衆議院農林水
産委員会理事等を歴任。

愛知県出身四十二歳



東京大学大学院工学系研究科教授

清水 英 範

沖縄総合事務局のホームページから、「基地がなかった頃・昭和の初めごろ、宜野湾への旅」と題するビデオを見ることが出来ます。普天間基地ができる前の宜野湾の地形、風景をコンピュータ・グラフィクス（CG）などの技術を使って再現しています。宜野湾の原地形、原景観はどうであったのか、その中で、人々はどうのような暮らしを営んでいたのか、美しい映像と平良とみさんの情緒豊かな語り口で紹介されていきます。

この映像は、沖縄総合事務局が平成十三年度に設置した「昔・普天間まちなみ再現検討委員会」の成果に基づいています。私は、委員長の仕事にあった関係で多少憚られるのですが、委員の皆様ほか、多くの人々の献身的な努力によって成し遂げられた、この委員会の仕事のもつ意義の大きさを多くの方々に知っていただきたく、筆をとらせていただきます。

きました。

委員会では、ホームページに紹介される映像の他にも、宜野湾を中心とした地域の地形、自然、都市化の変遷を調査し、これを地理情報システム（GIS）を用いてデータベース化していく作業を担いました。個々の仕事に言及する余裕はありませんが、一つだけ紹介させていただきます。

それは、米軍が占領前に偵察目的に撮影した空中写真を利用して、当時の地形図を作成するという困難

しいまちづくりを目指して」です。この題目に、委員会の最終的な目標、そして、私たち委員会に携わった多くの者の願いが端的に表されています。

普天間基地の地権者の方々は非常に多く、年月を経て既に世代が代わられている世帯も多くあります。返還後の普天間のまちづくりにも、様々な方が関係されるでしょう。地権者の方々はもとより、市民、県民、県や国の行政機関、政治家、デベロッパー、学識経験者など、多くの方々

今・昔の普天間

新しいまちづくりを

目指して



な仕事です。もちろん、白黒の写真ですし、雲のかかったものも多くありました。いまの空中写真のように鮮明でもありません。その古ぼけた空中写真が、現代の写真測量の技術によって現代に蘇りました。戦前の宜野湾の地形図を作ることに成功したのです。

沖縄総合事務局は、これまで紹介しました仕事を含む、委員会での一連の仕事の主要な過程とその成果を収めたビデオテープを作成しました。題して、「今・昔の普天間」新

が新しいまちづくりに参画されるのだと思います。この方々は、世代も違えば、出身地や生活環境も異なります。経験や知識、そして各自の価値観も多様なことでしょう。

これら多くの方々が、普天間の歴史を共有し、相互に信頼関係をもつて未来を語り合うことは容易なことではありません。私たちの問題意識はこの点にあります。多くの人が普天間の歴史を知り、それを共有するための助けとなるような情報システムをつくれないう。そして、

多くの人が夢をもつて普天間の未来を語り合い、協働のまちづくりを進めていくための契機となれないか。これが私たちの願いであったのです。

「共有される歴史」の解釈や未来への展望は各自の価値観によって異なってくるでしょう。それは当然のことです。重要なことは、各自が確固とした歴史観を養い、未来に対する確かな意見を持つことです。時勢に流されず、長期的な視野にたった責任ある議論を重ねることです。後世に対して、子孫に対して説明責任を負うということは、結局のところ、こつこつことではないかと思うのです。

私は、家族愛も郷土愛も、そして真の愛国心も、すべて、歴史を共有できるからこそ、成り立つのだと思っています。そして、戦後の都市計画に見られる多くの失敗は、各地域の固有の歴史や文化、特に、地域のもつ原地形、原風景的な個性に十分な配慮がなかったことに起因すると思うのです。

普天間の新しいまちづくりが、わが国の都市計画を大きく進展させる契機となることを切に願います。普天間であるが故に、沖縄であるが故に、わが国の計画哲学と方法論の成熟度が広く世界に試されることにもなるのです。

うちなーのみじ

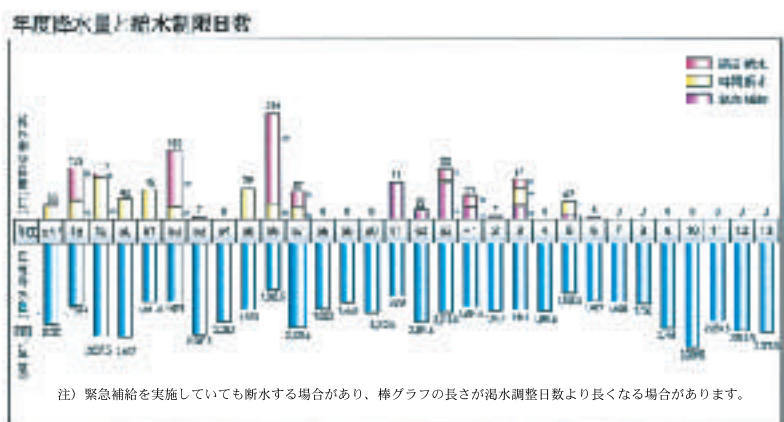
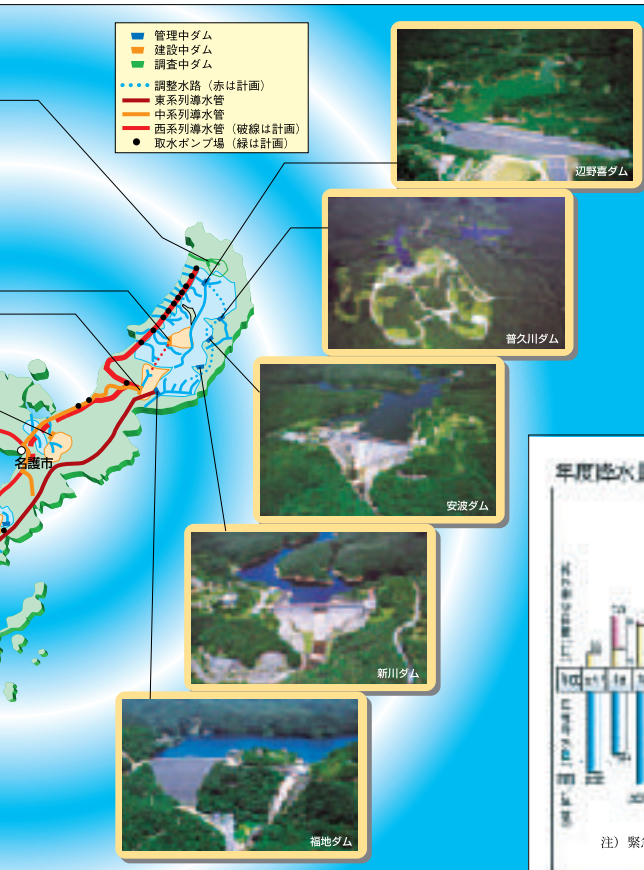
水資源開発と流域連携について

① 沖縄本島の水資源開発

沖縄総合事務局においては、沖縄本島の緊迫した水事情に対処するため、昭和四十七年の本土復帰以降、他目的ダム建設を促進してきました。今回、これまでの水資源開発の取り組み状況と今後の展望について紹介します。

- ◆ これまでの取り組み ◆
- ◆ 復帰直後の水需要状況 ◆

本土復帰からの十一年は、毎年のように洪水が繰り返され、特に昭和五十六年から五十七年にかけは記録的な干ばつで、給水制限が三百二十六日にも及び、県民生活に多大な影響を与えました。



多目的ダム事業 30年の成果

(福地ダム、新川ダム、安波ダム、普久川ダム、辺野喜ダム、漢那ダム、倉敷ダムが完成)

項目	復帰当時	現在	効果
ダムの数	3	9	3倍 (6ダム増)
有効貯水容量 (千m ³)	4,200	93,750	22倍 (89,550千m ³ 増)
洪水調節容量 (千m ³)	0	18,900	— (18,900千m ³ 増)
利水容量 (千m ³ /日)	4,200	76,590	18倍 (72,390千m ³ 増)
水道用水容量 (千m ³)	4,200	52,630	13倍 (48,430千m ³ 増)
工業用水容量 (千m ³)	0	17,030	— (17,030千m ³ 増)
農業用水容量 (千m ³)	0	1,740	— (1,740千m ³ 増)
不特定容量 (千m ³)	0	5,190	— (5,190千m ³ 増)
ダムによる開発水量 (m ³ /日)	32,900	374,600	11倍 (341,700m ³ /日増)
水道用水 (m ³ /日)	32,900	294,200	9倍 (261,300m ³ /日増)
工業用水 (m ³ /日)	0	68,400	— (68,400m ³ /日増)
農業用水 (m ³ /日)	0	12,000	— (12,000m ³ /日増)

◆ ダムによる水資源開発 ◆
こうした深刻な水事情に対応するため、沖縄総合事務局では、米軍陸軍工兵隊の手によって建設途上にあった福地ダムを継承し昭和四十九年に完成させました。その後、平成八年後までに新川ダム、安波ダム、普久川ダム、辺野喜ダム、漢那ダム、倉敷ダム（旧瑞慶山ダム）を順次完成させ、県民生活の向上と産業の発展に大きく貢献してきました。

◆ 地域に開かれたダム造り ◆
ダム湖及びその周辺が地域住民の憩いの場、学習の場となるように親水性に富んだ公園やダム資料館などの整備に積極的に取り組んでいます。



倉敷ダムへの注水を利用した人工河川 (やんばるの川)

◆ 自然環境との調和と保全 ◆
沖縄本島北部は自然環境の極めて豊かな地域であり、ダム建設による自然環境への影響を最小限度に抑えることが重要な問題となっています。そのため、ダム建設にあたっては、自然環境との調和を図るためノグチゲラの人工営巣木や魚道の設置、小側溝の採用など、生態系保全対策を積極的に実施しています。



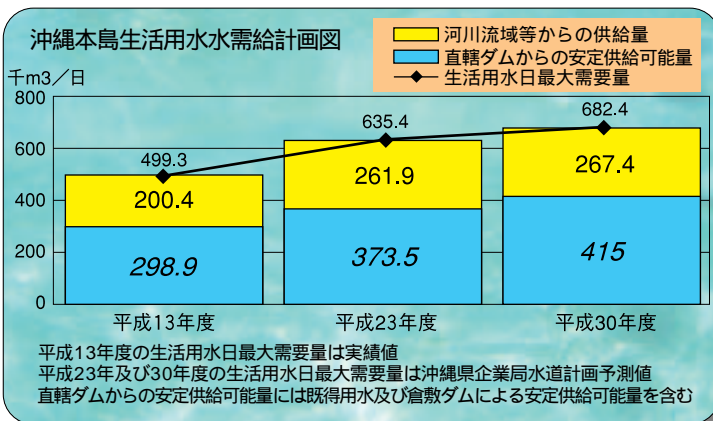
人工営巣木を利用しているノグチゲラ

◆今後の展望◆
本県においては、県民の生活水準の向上や観光客の増加等に伴い水需要は益々増加する状況にあり、水源開発は引き続き重要な課題となっています。そのため、多目的ダムによる河川流域の治水対策と合わせた水資源開発が必要となっています。

◆多目的ダム建設事業◆
羽地ダムは、現在試験湛水中であり、平成十六年度の完成を予定しています。大保ダムは、平成十四年八月に脇ダム本体工事を発注（本ダム本体工事についても平成一四年度中に発注予定）し、平成二十一年度の完成を予定しています。億首ダムについては、ダム本体工事に向け、用地買収を行っています。

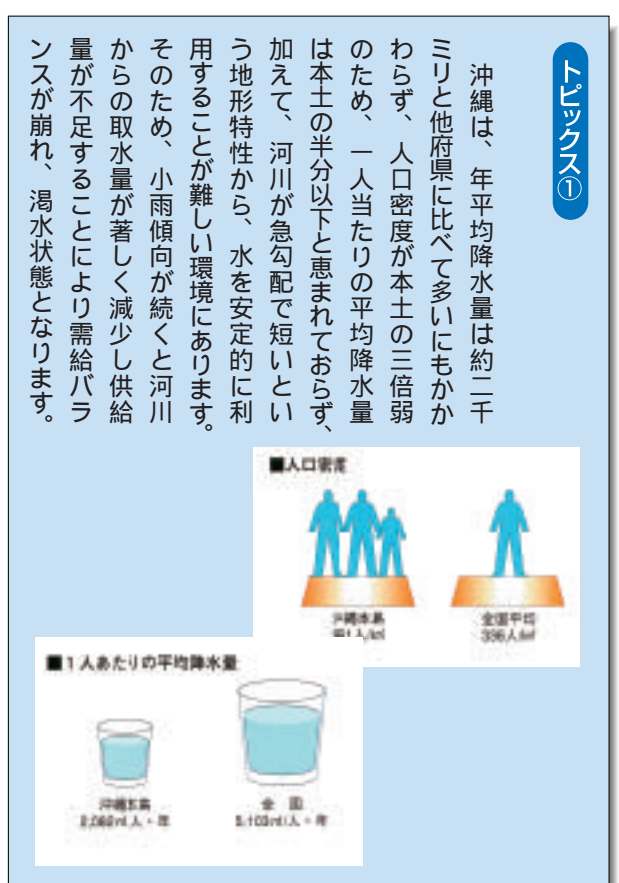
多目的ダム事業 10年後の展望
（羽地ダム、大保ダム、億首ダムが完成）

項目	現在	10年後	効果
ダムの数	9	11	1.2倍（ 2ダム増）
有効貯水容量（千m3）	93,750	139,500	1.5倍（ 45,750千m3増）
洪水調節容量（千m3）	18,900	27,150	1.4倍（ 8,250千m3増）
利水容量（千m3/日）	76,590	114,090	1.5倍（ 37,500千m3増）
水道用水容量（千m3）	52,630	76,720	1.5倍（ 24,090千m3増）
工業用水容量（千m3）	17,030	17,030	—
農業用水容量（千m3）	1,740	9,980	5.7倍（ 8,240千m3増）
不特定容量（千m3）	5,190	10,360	2倍（ 5,170千m3増）
ダムによる開発水量（m3/日）	374,600	555,800	1.5倍（ 181,200m3/日増）
水道用水（m3/日）	294,200	392,300	1.3倍（ 98,100m3/日増）
工業用水（m3/日）	68,400	68,400	—
農業用水（m3/日）	12,000	95,100	8倍（ 83,100m3/日増）



トピックス② 【水源地域ビジョン】
ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るため、水源地域の自治体、住民等がダム管理者と共同で、水源地域活性化の行動計画となる「水源地域ビジョン」を策定・推進することとなっています。

県内では、福地ダム・新川ダムの水源地域ビジョンを策定するため、学識経験者、住民代表、沖縄県関係部局、東村役場、沖縄総合事務局で構成される「福地・新川ダム水源地域ビジョン策定委員会」を平成十四年九月に発足させました。今後、本委員会において議論を重ね、今年度中に「福地・新川ダム水源地域ビジョン」を策定し、諸施策を推進する予定です。



② 流域連携

1、「沖縄玉水ネットワーク」

平成九年度の河川法改正により、河川整備計画策定には市民の意見を反映させることとなっていますが、計画から管理まで市民が参画するには、今まで以上に市民団体の活動が活発化することが必要となるとともに、行政との役割分担を行う必要があります。

そこで、市民の組織活動を一層充実させ、「川づくり」へ反映させるため、市民団体の横のつながりを構築することと行政との協働体制を考えるものとして、「沖縄玉水ネットワーク」が発足しました。

「沖縄玉水ネットワーク」の活動内容及び構成は次のとおりです。
構成団体の活動状況、河川に関する様々な情報発信を行います。
構成団体の活動状況の報告会や勉強会などを開催します。

「玉水」とは、水滴状の水が、光を受けた時にキラキラと光り輝く様をいう。その状態がまるで「玉」のようだから玉水という。

第3回
世界水
フォーラム

2003年
3月16日～23日

京都・滋賀・大阪を結び
琵琶湖・淀川流域で開催

「沖縄玉水ネットワーク」構成

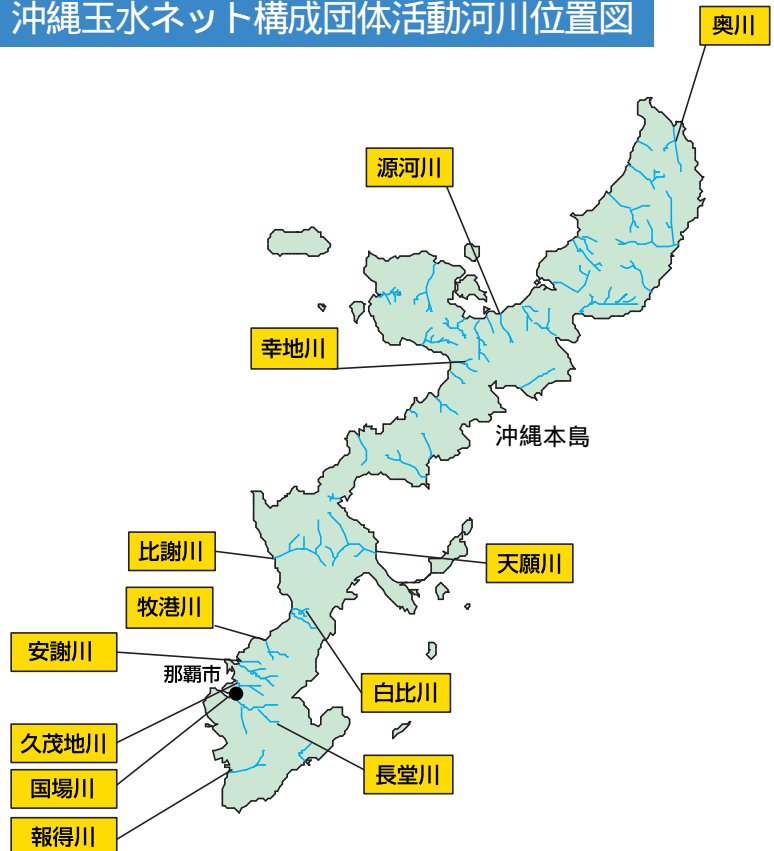
河川名	団体名
奥川	奥川にアユを蘇生させる会
源河川	源河川にアユを呼び戻す会
幸地川	幸地川を蘇生させる会
天願川	具志川市水と緑を考える会
比謝川	比謝川をそ生させる会
比謝川	YOU・遊・比謝川実行委員会
白比川	白比川の自然を残す会
牧港川	牧港川をきれいにする市民の会
安謝川	安謝川をきれいにする住民の会
久茂地川	久茂地川フェスティバル実行委員会
国場川	国場川に清流をとり戻す会
長堂川	長堂川に清流をとりもどし山川の生活環境をよくする会
報得川	報得川と美海の会
	行政沖縄総合事務局河川課 沖縄県河川課

2、「沖縄の水と川を
考えるフォーラム」

今年度、世界水フォーラムが日本で開催されること、「沖縄玉水ネットワーク」の発足を記念し、水と川をめぐる様々な課題について討議するため「沖縄の水と川を考えるフォーラム」を平成十四年九月十六日（月）、具志川市立川崎小学校で開催しました。

当日は、河川愛護団体、川に係わ

沖縄玉水ネット構成団体活動河川位置図



る各行政機関、学校の先生、川づくりに携わった施工業者等約百四十人が参加。六分科会に分かれて、活発な意見・情報交換や提案を行いました。ここにフォーラムの内用を紹介します。

第1分科会「水利用のあり方」
中南部の自助努力
座長：神山 満夫（比謝川をそ生させる会）
第2分科会「河川の浄化対策」
特に畜舎廃水について
座長：崎山 正美（久茂地川フェス

沖縄本島の水供給は、本島北部の

ダム及び河川からの供給がその大半を占めており、これ以上の水供給負荷を今後とも本島北部に求めるだけでなく、雨水や下水処理水等の有効活用、節水対策の推進を特に中南部ですすめるにあたっての課題等について討議しました

ティバル実行委員会

河川環境問題の大きな柱として水質問題があり、その最も大きな要因として畜舎廃水があります。畜舎廃水に対する法整備がなされ、本格的に取り組むことが決定されていますが、様々な課題が考えられます。そのためこれらの課題を整理し解決策を模索しました。

第3分科会「魅力ある河川愛護活動の取り組み」～活動を継続するために～

座長：神山 吉朗（YOU・遊・比謝川実行委員会）

河川愛護活動を継続し発展的に取り組むため、活動組織の若返り方や魅力ある活動方策について、議論しました。

第4分科会「川での総合学習」
座長：松本 好郎（報得川と美海の会）

小中学生を対象とした河川における総合学習のあり方について学校現場での取り組みと問題点を議論しました。

第5分科会「市民グループと河川のあり方」～市民と行政の協働について～

座長：高平 兼司（具志川市水と緑を考える会）

河川管理を市民グループが行うた

めの今後の取り組みについて官と民の役割分担、責任の所在等を踏まえ、新たな仕組みづくりについて議論しました。

第6分科会「魅力ある川づくりと住民参加」

座長：寺田 麗子（久茂地川フェスティバル実行委員会）

川づくりに本格的に住民が参画した天願川の事例を紹介し、住民参加の川づくりの課題等について議論を行いました。

3、おわりに

本フォーラムは沖縄の水と川をめぐる課題について討議しましたが、課題解決に向けて、今後も地道に取り組んで行くことと、地域住民、関係機関の協力が必要です。それには、「沖縄水ネットワーク」の連携の輪を更に拡げていく必要があります。沖縄総合事務局も微力ながらお手伝いしていきます。

今回は、課題に対して地域住民と行政が協働で取り組む最初の一歩となるもので、その歩みを「継続」させることが重要と考えています。

最後に本フォーラム開催にあたり、御協力頂きました関係各位の皆様にご場をお借りしまして御礼申し上げます。



第6分科会
住民参加の川づくりについて説明する
「具志川市水と緑を考える会」の会員



第2分科会
畜舎廃水対策について説明する参加者



第1分科会
水利用のあり方について討議する参加者



全体会議
分科会の報告を聞く参加者



全体会議
第5分科会でまとめた内容について報告する座長



住民参加による川づくりの事例
（天願川）

「ワン切り」に注意!

近年、携帯電話がめざましく普及しています。しかし、便利さの反面、「出会い系サイトの料金トラブル」や「ワン切りトラブル」など携帯電話に関わるトラブルが多く発生し、相談も数多く寄せられております。こうした中、電子メールによる一方的な商業広告（いわゆる迷惑メール）については、特定商取引に関する法律の改正及び特定電子メールの送信適正化等に関する法律が制定され対策がなわれたところです。ワン切りについては、現在、総務省の「迷惑通信への対応の在り方に関する研究会」に

おいて対策が検討されているところですが、経済産業省においては、ワン切りをきっかけとした取引において、トラブル防止を徹底するため、注意喚起用のリーフレット「ワン切り注意報!」を作成し、地方公共団体等を通じて広く配布するなど、ワン切り被害の防止に努めています。ここでは、ワン切りがあつた際の身近な対策を紹介します。

ワン切りとは:

携帯電話に電話がかかり、ワンコールで切れ、着信履歴に残された電

話番号にかけ直すと、自動音声で出会い系アダルト関連のテープが流れてくる、いわゆる「ワン切り」と呼ばれ、これが社会的問題となり今年七月には、大阪においてワン切り業者の大量発信による電気通信ネットワークへの悪影響が発生するなど、利用者の利便が損なわれる事態が生じています。

ワン切りにかけ直すと:

消費者がワン切りにかけ直し、音声ガイドに従ってプッシュボタンで電話番号やクレジットカード番号を登録するなどして申込みを行うと、

有料サービスに入ることになります。

ワン切りの情報は:

このような情報提供サービスは、特定商取引法上の「通信販売」に該当し、案内テープはその広告として同法の規制を受けます。

ワン切りのトラブル:

これに関して、サービスを利用していないのに請求がくる、サービスを利用した場合で不平等な延滞料請求がなされるといった相談が多く寄せられています。

ワン切りトラブルへの対応は

①単に、電話をかけ直しただけでは、代金を支払う義務がない!

着信履歴に残された電話番号に、単に電話をかけ直しただけでは、契約を締結したことにならず、通話料金以外の代金を支払う義務はありません。万一請求の電話があつても、絶対に自分の氏名・住所などを教えたりしないことです。

②仮にサービスを利用した場合でも、不当な延滞料の請求に応じる必要はない!

事前に延滞料の説明を受けていない場合には年5%「民法第四〇四条」(なお、商法が適用される場合は年6%)。また、仮に事前に説明があつた場合でも、年十四・六%を超える延滞料の特約は無効とな



もし、あやまってかけてしまっても、あわてないで。

☎ 単にかけ直ただけなら・・・
通話料以外を支払う必要はありません。

☎ サービスを利用してしまっても・・・
不当な請求に応じる必要はありません。

(注)支払期日を守らなかった時の追加金

☎ 脅迫されたら警察へ
脅迫めいた請求があった時は、
警察に相談しましょう。



Q2 着信履歴にかけ直したら、出

Q1 友達からだと思ってワン切り
にかけ直してしまっただけ、すぐ切った
けど、高い料金があると聞いて心配：
A1 着信履歴に残された電話番号に
単に、かけ直しただけでは、契約をした
ことにはならないので、通話料以外を
支払う必要はありません。請求の電話
があっても、業者はあなたの携帯電話
しか知らないはずで、絶対に名前や
住所を教えないこと。

ります。「消費者契約法第九条」。
なお、事前の説明なく不当な延
滞料を請求された場合には、特定
商取引違反の可能性もあります。
③ 脅迫的な言動による請求等がな
された場合には、警察に通報すること。

こんなときのQ&A

⚠ 着信履歴に残された知らない番号に、
不用意にかけ直すことはやめましょう。

「知らない番号に不用意にかけ直さない」
事が重要

相手にあなたの電話番号を
しられないように
しましょう。



会い系らしい案内テープが流れてきた。
無料期間中と言うから聞いたのに、
一万円を請求された。これって、一万
円払わなければならないの？
A2 利用前の説明と違う、不当な
請求に応じる必要はありません。
Q3 ワン切りにかかけ直して有料情
報を聞いたけど、忙しくて支払い期
日を過ぎてしまった。一カ月後、「利
用料三千円、延滞料十万円を支払え。
家まで取り立てにくぞ。」と何度も
電話がかかってきて怖い。
A3 延滞料は、法律で上限が決まっ
ています。利用料が三千円であれば、一
カ月の延滞料はどんなに高くても四十
円にはなりません。恐いからと、つい支
払ってしまうと、「脅かせば取れる」と目
を付けられ、また狙われるかもしれま
せん。脅迫めいた請求があったら、警察

● 消費者相談窓口

経済産業省消費者相談室

☎ 03-3501-4657

沖縄総合事務局消費者相談室

☎ 098-862-4373

沖縄県県民生活センター

☎ 098-863-9214

(宮古分室) ☎ 09907-2-0199

(八重山分室) ☎ 09808-2-1289

沖縄県警察本部生活安全課

☎ 098-861-9110

に相談しましょう。

ワン切りには毅然とした態度で：

携帯電話には知人等の電話番号や
メールアドレスなどの個人情報登録
されているので紛失には十分気を
付け、トラブルに遭わないために心
当たりのない着信履歴へのかけ直
をしないことも心得ておくことが必
要です。

また、電話をかけてしまっても相
手を確認するだけの利用で法外な料
金を請求されるようであれば、利
用しない旨を相手に申し立て、毅然
とした対応をしてください。
もし「ワン切り」がもとで、不当
な料金請求を受けるなど困ったこと
があれば、消費者相談窓口へご相談
ください。

● 情報提供関係機関等

機 関 名 等	情 報 提 供 内 容	H P ア ド レ ス
行政機関等	総務省	携帯電話の着信履歴機能を利用した迷惑電話について http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/keitai.html
	経済産業省	リーフレット「ワン切り注意報！」 http://www.meti.go.jp/policy/consumer/index.html
	警視庁	迷惑電話にご注意ください！！ワンコール・コールバック式（ワンギリ）にご注意ください。 http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/seian/meiwaku/meiwaku.htm
	国民生活センター	携帯電話のいわゆる「ワン切り」に関する相談について http://www.kokusen.go.jp/soudan_now/keitai.html
電気通信事業者	NTT西日本	ご注意ください～「ワン切り」コールへのかけ直しにご注意！～ http://www.ntt-west.co.jp/info/info.html
	KDDI (au)	ご注意ください～au電話をご利用のお客さまへ～ http://www.au.kddi.com/info/infob/wangiri-20011128/wangiri.html
	NTTドコモ九州	「迷惑電話」にお気をつけてください http://www.docomokyusyu.co.jp/
	ジェイフォン	ワンコール迷惑電話（ワン切り）にご注意ください http://www.j-phone.com/h/index.html

電気通信事業者については沖縄から最寄の業者をリストアップしています。

その1 十一月は下請取引適正化 推進月間です

下請取引のルールを守っていますか。

下請代金支払遅延等防止法は、下請取引のルールを定めたものであり、このルールを親事業者が遵守することによって、下請取引をより公正なものにし、下請企業の利益の保護を図っています。

例えば、下請単価を一方的に引き下げたりすることや、安易は発注の取消しや納期の延期などもルール違反として禁止しています。

本法は次のようなルールを定めています。

- 下請事業者には責任がないのに、いったん注文した物品の受領を拒んではならない（受領拒否の禁止）。
- 下請代金を物品の受領後六十日以内に支払わなければならない（支払遅延の禁止）。
- 下請事業者には責任がないのに、あらかじめ決めた下請代金を支払時に減額してはならない（下請代金の減額の禁止）。
- 下請事業者には責任がないのに、受領した物品を返品してはならない（返品の禁止）。

- 著しく低い下請代金を不当に定めではない（買ったたきの禁止）。
- 製品を均質にするため、原材料や工具・部品等を自己から購入させる場合を除き、自己の指定する物の購入を強制してはならない（購入強制の禁止）。

- 有償支給した原材料等の対価を下請代金の支払期日より早い時期に支払わなければならない（有償支給現在料等の対価の早期決済の禁止）。
- 下請代金を一般の金融機関で割り引くことが困難な長期手形により支払ってはならない（割引困難な手形の交付の禁止）。

公正取引委員会及び中小企業庁では、定期的

知ってますか下請法 守ってますか取引ルール



11月は下請取引適正化推進月間です。

知ってますか下請法
守ってますか取引ルール

キャンペーン標語

「下請取引適正化推進月間」

に下請取引の実態を調査し、これらに該当する行為が起きていないかどうかをチェックしています。そして、親事業者がこれらに該当する行為をしているときは、その行為をやめさせるとともに、下請事業者が受けた不利益の回復措置を講じています。

十一月は下請取引適正化推進月間です。下請取引に関する相談等を次の連絡先までお気軽にどうぞ。

- 総務部公正取引室
(TEL) 〇九八・八六三・二四三
- 経済産業部中小企業課
(TEL) 〇九八・八六三・二四二

公正取引委員会
http://www.jtrc.go.jp/

中小企業庁
http://www.chusho.meti.go.jp/

その2

管内経済情勢報告

財務部

平成十四年十月、財務部では管内経済情勢報告を次のとおり取りまとめました。

概況

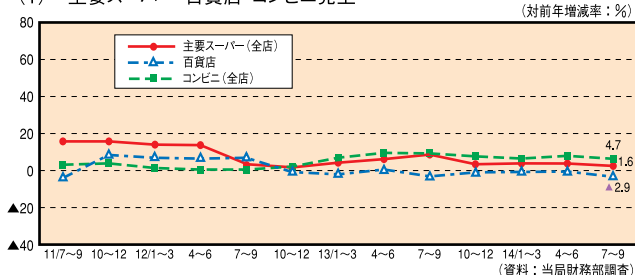
最近の管内経済情勢をみると、個人消費は、一部に弱含みの動きがみられるものの総じて底固く推移している。公共事業、住宅建設は前年を下回っている。また、十四年度の設備投資は前年度を上回る計画となっている。

観光は着実に回復してきている。

こうした中、企業活動をみると、生産は持ち直しの動きが続いているほか、十四年度通期の企業収益は、増益見通しとなっている。企業の景況感は、現状は「下降」

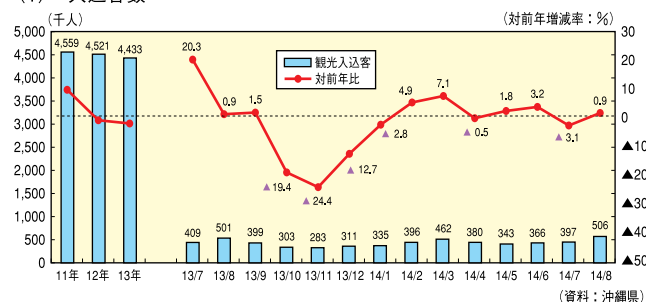
表一 個人消費……一部に弱含みの動きが見られるものの、総じて底固く推移している

(1) 主要スーパー・百貨店・コンビニ売上



表二 観光……着実に回復してきている

(1) 入込客数



このように、個人消費は、一部に弱含みの動きが見られるものの、総じて底固く推移している。

観光をみると、観光入込客数は低価格商品や各種キャンペーン等の誘客効果もあって高水準で推移しており、着実に回復してきている。

主要ホテルは、低価格商品の

超となっているものの、先行きは上昇、超に転じる見通しとなっている。なお、雇用情勢は以前として厳しい状況にあるものの、一部に明るい動きもみられる。

このように、管内経済は、一部に厳しさはあるものの、観光は着実に回復してきており、全体として持ち直しの動きが続いている。

個人消費をみると、百貨店は、前年を下回っているものの、主要スーパー、コンビニエンスストアは、底固い動きとなっている。

耐久消費財では、家電製品販売は前年を下回っている。自動車販売は、中古車販売は前年を下回っているものの、新車販売は引き続き前年を上回っている。

このように、公共事業を公共工事前払保証請負額でみると、国等で前年を上回っているものの、県、市町村等で前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。

生産活動をみると、建設資材関連ではアルミ型材が、前年を下回っているもののセメント、生コン、棒鋼は前年を上回っている。

また、食料品では、ビール、パン、めん類が前年を下回っているものの、食肉加工品、泡盛、発泡酒は前年を上回っている。

このように、生産活動は総じてみると持ち直しの動きが続いている。

企業収益(石油、電気、ガスを除く)をみると、十四年度上期は、製造業で増益とみているほか、非製造業でわずかながら増益とみていることから、全企業では増益見込みとなっている。

十四年度下期は、製造業で減益とみているものの、非製造業で大幅な増益とみ

影響などから客室単価が前年を下回っているものの、高水準で推移した観光入込客数の影響を受け、客室稼働率は前年を上回っている。

観光関連施設の入場者数は、好調だった前年を下回っている。

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家等で前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。新設住宅の着工床面積も前年を下回っている。

資金別の着工戸数では、公的資金が前年を下回っているものの、民間資金は前年を上回っている。

設備投資をみると、十四年度(実績見通し)は、製造業で前年度を下回っているものの、非製造業で前年度を上回っていることから、全産業では前年度を上回る計画となっている。

公共事業を公共工事前払保証請負額でみると、国等で前年を上回っているものの、県、市町村等で前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。

生産活動をみると、建設資材関連ではアルミ型材が、前年を下回っているもののセメント、生コン、棒鋼は前年を上回っている。

また、食料品では、ビール、パン、めん類が前年を下回っているものの、食肉加工品、泡盛、発泡酒は前年を上回っている。

このように、生産活動は総じてみると持ち直しの動きが続いている。

企業収益(石油、電気、ガスを除く)をみると、十四年度上期は、製造業で増益とみているほか、非製造業でわずかながら増益とみていることから、全企業では増益見込みとなっている。

十四年度下期は、製造業で減益とみているものの、非製造業で大幅な増益とみ

超となっているものの、先行きは上昇、超に転じる見通しとなっている。なお、雇用情勢は以前として厳しい状況にあるものの、一部に明るい動きもみられる。

このように、管内経済は、一部に厳しさはあるものの、観光は着実に回復してきており、全体として持ち直しの動きが続いている。

個人消費をみると、百貨店は、前年を下回っているものの、主要スーパー、コンビニエンスストアは、底固い動きとなっている。

耐久消費財では、家電製品販売は前年を下回っている。自動車販売は、中古車販売は前年を下回っているものの、新車販売は引き続き前年を上回っている。

このように、公共事業を公共工事前払保証請負額でみると、国等で前年を上回っているものの、県、市町村等で前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。

生産活動をみると、建設資材関連ではアルミ型材が、前年を下回っているもののセメント、生コン、棒鋼は前年を上回っている。

また、食料品では、ビール、パン、めん類が前年を下回っているものの、食肉加工品、泡盛、発泡酒は前年を上回っている。

このように、生産活動は総じてみると持ち直しの動きが続いている。

企業収益(石油、電気、ガスを除く)をみると、十四年度上期は、製造業で増益とみているほか、非製造業でわずかながら増益とみていることから、全企業では増益見込みとなっている。

十四年度下期は、製造業で減益とみているものの、非製造業で大幅な増益とみ

超となっているものの、先行きは上昇、超に転じる見通しとなっている。なお、雇用情勢は以前として厳しい状況にあるものの、一部に明るい動きもみられる。

このように、管内経済は、一部に厳しさはあるものの、観光は着実に回復してきており、全体として持ち直しの動きが続いている。

個人消費をみると、百貨店は、前年を下回っているものの、主要スーパー、コンビニエンスストアは、底固い動きとなっている。

耐久消費財では、家電製品販売は前年を下回っている。自動車販売は、中古車販売は前年を下回っているものの、新車販売は引き続き前年を上回っている。

このように、公共事業を公共工事前払保証請負額でみると、国等で前年を上回っているものの、県、市町村等で前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。

生産活動をみると、建設資材関連ではアルミ型材が、前年を下回っているもののセメント、生コン、棒鋼は前年を上回っている。

また、食料品では、ビール、パン、めん類が前年を下回っているものの、食肉加工品、泡盛、発泡酒は前年を上回っている。

このように、生産活動は総じてみると持ち直しの動きが続いている。

企業収益(石油、電気、ガスを除く)をみると、十四年度上期は、製造業で増益とみているほか、非製造業でわずかながら増益とみていることから、全企業では増益見込みとなっている。

十四年度下期は、製造業で減益とみているものの、非製造業で大幅な増益とみ

超となっているものの、先行きは上昇、超に転じる見通しとなっている。なお、雇用情勢は以前として厳しい状況にあるものの、一部に明るい動きもみられる。

このように、管内経済は、一部に厳しさはあるものの、観光は着実に回復してきており、全体として持ち直しの動きが続いている。

個人消費をみると、百貨店は、前年を下回っているものの、主要スーパー、コンビニエンスストアは、底固い動きとなっている。

耐久消費財では、家電製品販売は前年を下回っている。自動車販売は、中古車販売は前年を下回っているものの、新車販売は引き続き前年を上回っている。

このように、公共事業を公共工事前払保証請負額でみると、国等で前年を上回っているものの、県、市町村等で前年を下回っていることから、全体でも前年を下回っている。

生産活動をみると、建設資材関連ではアルミ型材が、前年を下回っているもののセメント、生コン、棒鋼は前年を上回っている。

また、食料品では、ビール、パン、めん類が前年を下回っているものの、食肉加工品、泡盛、発泡酒は前年を上回っている。

このように、生産活動は総じてみると持ち直しの動きが続いている。

企業収益(石油、電気、ガスを除く)をみると、十四年度上期は、製造業で増益とみているほか、非製造業でわずかながら増益とみていることから、全企業では増益見込みとなっている。

十四年度下期は、製造業で減益とみているものの、非製造業で大幅な増益とみ

その3 二十一世紀土地改良区創造 運動について

「土地改良区の愛称が「水土里（みどり）ネット」に決定」

土地改良区とは、農地の水管理や頭首工・水路などの農業用水利施設の維持管理を行う農家の団体であり、日本全国に約七千団体（沖縄県下百五十四団体。平成十四年三月末）があります。土地改良区は農業生産を支えているだけでなく、四万キロにも及ぶ農業用水路を通じて、地域の水循環機能を維持し、生態系の保全や良好な景観の保全に資する等公益的な役割も担っています。

しかしながら、多くの土地改良区では、都市化・混住化等に起因する農村の共同意識の低下や、高齢化・兼業化による農村地域の活力の低下により施設管理の粗放化や組織の弱体化に直面しています。

これらの事態に適切に対処し、各地で継承されてきたふるさとの環境を育む大切な資源を次世代に引き継ぐため、都道府県土地改良事業団体連合会が中心となり、「時代と共に、地域と共に生きる土地改良区」の実現を目指して、平成十三年度より「二十一世紀土地改良区創造運動」

が展開されているところです。その運動の一つとして、土地改良区の活動がイメージされ親しみが沸くような「愛称」募集が全国で実施

され、十月二十九日の全国土地改良大会において「水土里（みどり）ネット」と発表されました。さらに、平成十四年十月に糸満市真栄平土地改良区を中心に「農業体験ふれあいバスツアー」が開催され、糸満市立光洋小学校の子供たちと芋掘りを行うとともに、土地改良施設等の見学を通して、農業農村の果たしている役割と、これらを管理して

いる土地改良区について説明しました。「農業体験ふれあいバスツアー」については、平成十五年三月に感想文集・感想画集として取りまとめられ、関係者や一般の方々に配布を予定しています。今後とも、これらの運動を通じて、土地改良区のイメージアップに繋がるよう展開していきます。

農業体験ふれあいバスツアー！



掘った芋と子ども



みんなで芋掘り

その4

触れて感じる先人の技

◆伝統的工芸品月間推進国民会議全国大会◆

全国各地には、百年以上の歴史と文化に育まれ、脈々と受け継がれてきた、伝統の技（伝統的工芸品）があります。

京都府の十七品目を筆頭に、全国で二百近い品目が指定を受けていますが、沖縄県の指定品目数は新潟県と並んで、第二位（十三品目）「別表参照」。

これらの伝統の技を一堂に会し、伝統的工芸品を身近に感じてもらうと、

『第十九回伝統的工芸品月間推進国民会議全国大会』が本土復帰三十周年記念の記念行事の一環として宜野湾の沖縄コンベンションセンターで開催（十一月六日～十日）されました。

「伝統的工芸品月間」とは、経済産業省が昭和五十九年に定めたもので、毎年十一月を同月間として、伝統的工芸品産業に対する理解と国民生活への普及を目的に、全国各地で多彩

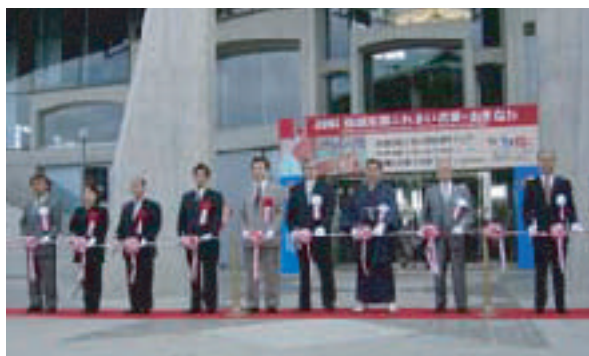
な行事が開催されていますが、全国大会においては、功績のあった伝統工芸士や各産地の団体・個人の表彰を行っています。

因みに今年度の経済産業大臣表彰として沖縄から本功労賞として「平良美恵子」さん、喜如嘉芭蕉布事業共同組合理事長が、優良団体をして「琉球絣事業共同組合（理事長 大城一夫）」がそれぞれ受賞されました。

更に、これらの文化を継承していくため、小・中学生の子供達に伝統的工芸品に対する関心を高めてもらうと併せて実施されている伝統的工芸品月間図画・作文コンクールでは、県内から、図画部門で、文部科学大

臣奨励賞（源河小 松田知子さん）、全国市町村教育委員会連合会会長賞（開南小 石川瑞起さん）、文部部門で、（社）日本民間放送連盟会長賞（南星中 津波美都里さん）がそれぞれ上位入賞を果たしました。

会場内で同時に開催されている「伝統工芸ふれあい広場・おきなわ」、「全国伝統工芸土展」では、ビデオ・パネルによる伝統的工芸品の歴史・技術の紹介だけではなく、全国から集まった伝統工芸士の方々による制作実演、一般来場者の制作体験コーナーもあり、伝統的工芸品の良さを肌で感じることもできるイベントとなりました。



「伝統工芸ふれあい広場・おきなわ」開会セレモニー



「伝統工芸ふれあい広場・おきなわ」での展示・実演

沖縄県の伝統的工芸品一覧

	品 目	指 定 年 月	産 地 組 合
1	久米島紬	S 50. 2. 17	久米島紬事業協同組合
2	宮古上布	〃	宮古織物事業協同組合
3	読谷山花織	S 51. 6. 14	読谷山花織事業協同組合
4	読谷山ミンサー	〃	
5	壺屋焼	〃	壺屋陶器事業協同組合
6	琉球絣	S 58. 4. 27	琉球絣事業協同組合
7	首里織	〃	那覇伝統織物事業協同組合
8	琉球びんがた	S 59. 5. 31	琉球びんがた事業協同組合
9	琉球漆器	S 61. 3. 12	琉球漆器事業協同組合
10	与那国織	S 62. 4. 18	与那国町伝統織物事業協同組合
11	喜如嘉の芭蕉布	S 63. 6. 9	喜如嘉芭蕉布事業協同組合
12	八重山ミンサー	H 1. 4. 11	竹富町織物事業協同組合
13	八重山上布	〃	石垣市織物事業協同組合

その5

守ろう地球オゾン層

10月から
カーエアコンからの
フロン回収が義務付けられました。

現在、私たち人類は、オゾン層破壊、地球温暖化といった地球規模の環境

問題に直面しています。人間を含めあらゆる地球の生物に影響を与えるオゾン層破壊や地球温暖化の原因となるフロンを大気中に放出させないよう平成十四年十月一日（業務用冷凍空調機器のフロンは、平成十四年四月一日から施行）からフロン回収破壊法が施行されました。

「フロン回収破壊法」

カーエアコンや業務用冷凍空調機器の冷媒として使用されているフロン類が、オゾン層の破壊及び地球温暖化物質であることから、昨年六月これらの製品を廃棄する際、製品に含まれるフロンの回収・破壊を義務付けました。

「自動車フロン券」

平成十四年十月一日から、自動車ユーザーは、カーエアコン付き自動車を廃棄する場合、カーエアコンに含まれるフロンの処理に要する費用の負担（自動車フロン券）が必要となりました。

自動車フロン券の料金 1枚 2,580円

車種別料金（1台当たり）		（ ）内はフロン券枚数	
自動車 （バスを除く）	バス（乗車定員11人以上）		
	小型バス [長さ7メートル未満]	大型バス [長さ7メートル以上]	
2,580円 1枚	5,160円 2枚	10,320円 4枚	



「使用済自動車の引渡」

自動車ユーザーは、最寄りの郵便局もしくはコンビニエンスストアで所定の処理費用を払い込んで、自動車フロン券を取得し、それを使用済自動車に添えて、自治体の登録を受けた引取業者に引き渡さなければなりません。

なお、引取業者からは、自動車ユーザーに対し、「自動車フロン類管理書」の廃棄者控（A票）が交付されます。

「フロンの適正処理」

引取業者に引き取られた使用済自動車のフロンは、回収業者により

って回収されたうえ、破壊業者に引き渡され、破壊処理されます。また、関係する事業者には、引取数量、破壊数量等の記録・保存及び報告を義務付けており、フロンが、適正に処理される仕組みとなっております。

地球環境の保護は、このような法律の適正な施行はもとより、使用者一人一人が自覚を持って対応していくことが重要です。地球の未来のために、フロン回収にご協力をお願いします。

その26

沖縄美ら海水族館「オープン！」

沖縄の本土復帰三十周年記念事業の一環として、本部町の国営沖縄記念公園海洋博覧会地区内に建設が進められていた「沖縄美ら海水族館」が十一月一日、オープンしました。



米田健三内閣府副大臣



中馬弘毅国土交通副大臣

オープン当日は一般公開に先立ち、沖縄総合事務局が主催する開館式典が行われ、中馬弘毅国土交通副大臣、米田健三内閣府副大臣をはじめ、国や県、本部町、水族館関係者約四百六十名が出席されました。

式典は、オープニングアトラクションとして、真境名本流真境名結子琉球道場による琉球舞踊が拾うされた後、午前十時から水族館入り口へと続く海人門（ウミンチュゲート）で行われました。

来賓挨拶のなかで中馬副大臣は「大変迫力のある施設となった。沖縄観光、北部発展の拠点になることを大いに期待する」と式辞を述べられ、続いて米田副大臣から「北部地域、沖縄の更なる振興に奇与できるよう全力を挙げたい」との挨拶がありました。

式典終了後、水族館入り口となるめんそーれプラザにおいて、全国公募の中から選ばれた「沖縄美ら海水族館」の名付け親である仲里美沙樹さん（小学六年生）をはじめ、関係者十五名によるテープカットが行われ、式典列席者の入館に引き続き、午前十一時から一般公開が始まり、平日にもかかわらず約一千二百名の来館者が「沖縄美ら海水族館」の初観覧を楽しまれました。

世界最大級の水槽を有する同水族館は、世界初の試みとなるサンゴの大規模飼育展示や、ジンベエザメの複数飼育など魅力ある数多くの特徴を備えています。本施設は四階建て、延べ床面積は一万九千平方メートルの規模を誇り、館内は、「サンゴ礁への旅」、「黒潮の海への旅」、「深海への旅」の三つのテーマゾーンで構成されています。

今回の「沖縄美ら海水族館」のオープンには、今後の沖縄県における観光振興に更に大きく貢献するものと期待されています。



関係者によるテープカット

一般乗用旅客自動車運送事業 (タクシー)も係る緊急調整 地域の指定について

1 緊急調整地域の指定

国土交通大臣は、平成十四年八月二十二日の運輸審議会からの答申を受け、一般乗用旅客自動車運送事業(タクシー)の沖縄本島営業区域を平成十四年九月一日から平成十五年八月三十一日の間、道路運送法第八条第一項に基づく緊急調整地域として指定しました。

2 緊急調整地域制度の概要

緊急調整地域制度は、平成十四年二月一日に施行された改正道路運送法により新たに設けられた制度であり、一般乗用旅客自動車運送事業の供給輸送力が輸送需要量に対して著しく過剰となっており、当該供給輸送力がさらに増加することにより、輸送の安全及び旅客の利便を確保することが困難となるおそれがあると認められる地域において、一時的に新規参入及び増車を停止する措置を行うものです。

具体的には、対象となる営業区域の実車率及び一日一車当たり営業収

入が前年度と比較して減少し、かつ、当該営業区域における前五年度間平均値を十五%以上下回り、又は平成九年度から平成十二年度までの間の全国平均値を二十%以上下回っているとともに、安全関係法令違反件数及び苦情件数が前々年度と比較して二年連続して増加している場合に指定を行うこととなっています。

3 沖縄本島営業区域の状況

沖縄本島営業区域においては、平成十三年度の実車率が三十一・五%、一日一車当たり営業収入が二万四千八十三円であり、前年度の実車率が三十二・二%、一日一車当たり営業収入二万五千七円よりそれぞれ減少し、かつ、平成九年度から平成十二年度までの全国平均の実車率四十三・九%、一日一車当たり営業収入三万三千百五十九円と比較して、それぞれ二十八・二%、二十七・四%下回っています。また、同営業区域においては、安全関係法令違反件数が平成十一年度八件であるのに対して、平成十二年度十六件、平成十三年度九件、利用者

からの苦情件数が平成十一年度十八件であるのに対して、平成十二年度二十八件、平成十三年度三十四件と、両指標とも二年連続して平成十一年度と比較して増加しています。このため、沖縄本島営業区域は、緊急調整地域への指定要件に合致し、全国で唯一指定されることになりました。

4 沖縄総合事務局の対応

運輸審議会答申においては、「沖縄本島営業区域における安全面、利用者利便に関する事業者への指導監督の強化、経営環境改善に向けたイノベーション措置を講じ、早期に状態が改善するように最大限の努力を行うとともに、輸送の安全及び旅客の利便を確保することが困難となるおそれなくなったと認められる場合には、可能な限り早期の指定の解



国際通りを走行するタクシーには空車が目立つ



那覇空港ターミナルビルタクシー乗り場における指導員による指導

- 除を行うよう努め」ることが求められています。
- このため、沖縄総合事務局としては、当面の措置として、
- ① 本島地区の全ての増車事業者について重点項目を定めて重点的に監査を実施すること
 - ② 苦情や法令違反が多いと認められる事業者に対し重点的に監査を実施すること
 - ③ 輸送施設の使用停止処分等の行政処分の対象となった事業者名等の公表
 - ④ 沖縄県警等の関係行政機関との連携の強化
- 等を通じた事業者への指導監督の強化を図ることとしました。
- また、去る十月十七日には、運輸

特別監視地域・緊急調整地域の指定要件

急激な供給過剰が起こった場合、輸送の安全、利用者利便にも影響

- ・実車率及び日車営収が前年度と比較して減少
- ・前5年間平均比 10%超
又は平成9～12年度全国平均比 20%超 等

特別監視地域の指定

- ・実車率及び日車営収が前年度と比較して減少
- ・特監指定時に比較した前5年間平均比 15%超
又は平成9～12年度全国平均比 20%超 等
- ・一定の安全関係法令違反件数・苦情件数が2年連続前々年度と比較して増

- ・実車率及び日車営収が前年度と比較して増加等

特別監視地域の解除

沖縄本島地域が該当

緊急調整地域の指定

- ・実車率及び日車営収が前年度と比較して増加等
- ・法令違反件数・苦情件数が減少等

緊急調整地域の解除

部長から（社）沖縄県タクシー協会等の関係事業者団体の役員に対し、具体的な検討項目を示して、改善に向けた自主的な取組みを検討するように要請しました。関係事業者団体においては、今後、自主的な対策の具体化を図り、その結果を運輸部陸上交通課に報告する予定です。関係

事業者団体の取組み案については、昨年設置された官民の関係者から構成される沖縄県タクシー事業適正化推進懇談会（議長：沖縄総合事務局運輸部陸上交通課長）における審議を経て所要の修正を加え、可及的速やかにその実施に取り組んで行くこととなります。

沖縄総合事務局としては、今後も、緊急調整地域の早期指定解除や、県内外の利用者に愛される安全で利便性の高いタクシーの実現に向け、沖縄県等の関係行政機関と連携して、積極的に対策に取り組んで参る所存ですので、関係各位のご協力とご支援をお願い致します。

経済産業部

平成14年度経済産業省所管統計調査功績者表彰状の伝達

経 経済産業部では、去る10月30日に統計の日の関連事業として経済産業省所管の統計調査に関して功績のあった個人1名に対し、経済産業大臣表彰式を行いました。

今年度の栄えある受賞者は、統計調査員として動態統計調査に10年以上従事された「喜屋武智子」さんで古谷経済産業部長から表彰状と副賞が授与されました。

経済産業省が実施する動態統計調査の結果は、我が国鉱工業の生産、出荷、在庫の動向や石油等の消費動態を把握するものとして極めて重要なものであり、国や地方自治体における景気対策、中小企業対策など諸施策の策定のほか、企業における経営分析等に役立つ資料として各方面で活用されています。

この度の喜屋武さんの受賞は、このような統計調査を行うに当たり、草の根的かつきめ細かな調査対象事業所への対応や調査票の提出期日内の収集、更には調査事務の効率化・円滑化に努めてこられた功績が評価されたものです。



古谷経済産業部長から表彰状と副賞を授与される喜屋武智子さん

農林水産部

「松くい虫ゼロ大作戦」始まる

去 る9月19日、読谷村の座喜味城址において、国、県、米軍、市町村、村民、関係団体等が参加し、県民意識の高揚を図るため「松くい虫ゼロ大作戦」県民大会が開催されました。

沖縄県の重要な森林資源であるリュウキュウマツは、昭和48年に松くい虫が侵入して以来、本島中北部を中心に、大きな被害を受けており、沖縄県では、平成14年3月30日に「沖縄県松くい虫の防除に関する条例」を制定し、平成14年～18年の5カ年で松くい虫被害の終息を図ることとしています。



県民大会当日は約1,200人が参加する中、国吉農林水産部総務調整官は「県木として親しまれている貴重なリュウキュウマツを松くい虫から守ることは、資源の維持・造成を図り、森林の多様な機能を高度に発展する上で、極めて重要である」と挨拶しました。

式典後、参加者は伐倒した被害木の搬出に汗を流し、当日の大会を終了しました。

沖縄県総合事務局では、松くい虫防除対策をはじめ、各般の施策を支援し、森林・林業の活性化を推進していくこととしています。

総務部

細田博之 沖縄及び北方対策担当大臣が就任後初来沖



細 田博之 沖縄及び北方対策担当大臣が主任後初めて、10月11日から12日の日程で来沖されました。

細田大臣は、11日午後3時に那覇空港に到着し、国立沖縄戦没者墓苑を参拝するとともに大臣の出身地である島根県の慰霊碑、島根の塔を参拝後、稲嶺沖縄県知事及び伊良皆沖縄県議会議長との懇談、グレゾン在日米軍沖縄地域調査官をはじめとする米軍基地関係者との意見交換会を行いました。

12日には、航空自衛隊のヘリコプターに搭乗し、空から沖縄本島内の米軍施設を視察し、沖縄産業支援センターの視察、県内経済団体代表者との懇談、市町村四団体及び各圏域団体代表との懇談等を行い、12日の午後、帰任されました。

なお、10月11日午後、細田大臣は沖縄総合事務局を訪れ、「沖縄総合事務局は機能的に各省との連携を深くして沖縄発展のため頑張っていますが、新しい振興計画もでき、各種特区、新沖縄大学院大学の設置などとともに、高失業率などの諸問題を克服できる起爆剤として職員の皆様にはさらに努力をお願いします。一緒に頑張りましょう。」と職員を激励しました。

運輸部

平成14年度船員労働安全衛生月間の実施



陸 上労働者に比べて約5倍も発生割合の高い船員の災害、生活習慣病の割合が高くなりつつある疾病、その防止への意識を高めようと、九月を船員労働安全衛生月間とし、各種の行事を展開しました。

月間ははじめの3日、沖縄県水産会館において船員、船舶所有者、行政機関等百名余の参加のもと船員災害防止大会が開かれ、長引く不況下においても災害の絶無と健康の維持活動を推進していこうとする大会宣言がなされました。

この後、「働き盛りの健康管理 - 生活習慣病を中心に - 」と題して琉球大学医学部教授 有泉 誠氏による特別講演が行われました。

このほか、作業用救命衣、安全靴、救命浮環等、船員の保護具の展示場も開設され、真夏時の着用でも苦にならないタイプの作業用救命衣には、参加者らの感心が集まりました。

また月間中には官民からなる訪船指導班が、県内各港に停泊中の船舶を訪れ、海中転落事故を防ぐための舷梯（岸壁と船舶を結ぶ梯子）の設置状況、注意箇所へのトラマーク表示（黄と黒の縞模様）の有無、健康証明書の有効期限等、数十の項目についての点検指導を行い、災害・疾病防止への意識高揚を図りました。

開発建設部

「第11回アジア地域土木研究所長等会議」開催

10 月22日～24日にかけて万国津梁館（名護市）で開催された本会議には、インド、インドネシア、韓国、ラオス、マレーシア、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ、及び日本から約100人が参加しました。

本会議は、アジア諸国の枢要な立場にある幹部技術者が意見交換を行い、研究交流ネットワークを形成することを目的に平成4年度から開催されています。



国土交通省大石技監による来賓挨拶

今回は、洪水や干ばつへの対応など、「持続的発展可能な水管理のあり方」をテーマに各国の水管理について報告が行われました。霜上次長は、「沖縄の水資源開発とダム統合運用」と題し、講演を行いました。

また、「ダム統合運用」「環境保全（ダム、道路）」をテーマに海外研修生、当局職員および県職員による討議が行われ、海外研修生から「ダム統合運用の安全性管理の具体的な事例について」等の質問が出されるなど活発な討議が行われました。

関係各機関のご協力の下、本会議は無事終了致しました。この場を借りて御礼申し上げます。

開発建設部

平成14年度全国道路標識週間の実施

道 路標識の充実と利用者の利便向上を図ることを目的に、平成14年10月1日から7日まで各道路管理者、公安委員会の協力のもと全国道路標識週間を実施しました。

今年の活動は、ポスター掲示、ラジオ放送、道路情報板、電光掲示板等による広報、街頭でのリーフレット配布、沖縄県庁1Fロビーと道の駅「許田」にてパネル展示を行いました。

また、今年の新たな活動としては、道路管理者及び道路利用者等が標識に対する問題点や維持管理、今後の取り組みなど意見を交換する場として「沖縄県道路標識等改善懇談会」を11月中に開催することとします。

なお、道路標識・表示に関する一般の方からの意見を求めるための標識BOX（意見箱）を現在県内51箇所に設置しており、さらに、インターネットホームページにもコーナーを開設しています。

<http://www.dc.ogb.go.jp/kyoku/>

hyoshiki-box/index.html

寄せられたご意見については、今後の標識整備に反映していくこととしています。（道路管理課）



県庁1Fロビーでのパネル展示の様子

メディア活用 戦術も一考

琉球朝日放送報道制作局 次長

仲 里 雅 之



主が少なくなった総合事務局記者クラブ

テレビメディアにとつて、総合事務局が縁遠くなってきた。新聞に比べて、ビジュアルな情報（ニュース）を優先するという建前のせいでではない。公務員にサービス精神を求めるのは、流行になっているが、総合事務局からの情報（ニュース）が少ないのだ。水源情報やら経済指標やらのデータが多く、テレビ的な情報のパイプが詰まり気味。ホームページで確認をとるという話ではない。当然、年末の沖縄関係予算や公共工事の進捗状況を始めとして、バスの統合問題やタクシー業界への指導などの重要な情報が出ていることも、理解しながらのこと。が、「縁遠くなった」と思うのは、私が駆け出しの記者の頃、当時の総合事務局の記者クラブ（現在も場所は確保されている）に配属されたことを思い出している。遡ること、十八年も前のことではあるが、当時の総合事務局の記者クラブは、官邸・経済記者クラブの名を持つほど活気があった。何せ「沖縄と中央を結ぶパイプの入り口」との認識が強かったため、国の各省庁から流される様々な情報が、それこそ毎日洪水のように出てきた。「中央とのパイプ」は、いまなお脈々と続いているのに、失敬な話とお怒りの声も聞こえてきそうだが、もう少し続けると、名物の行政マン（ウーマン）

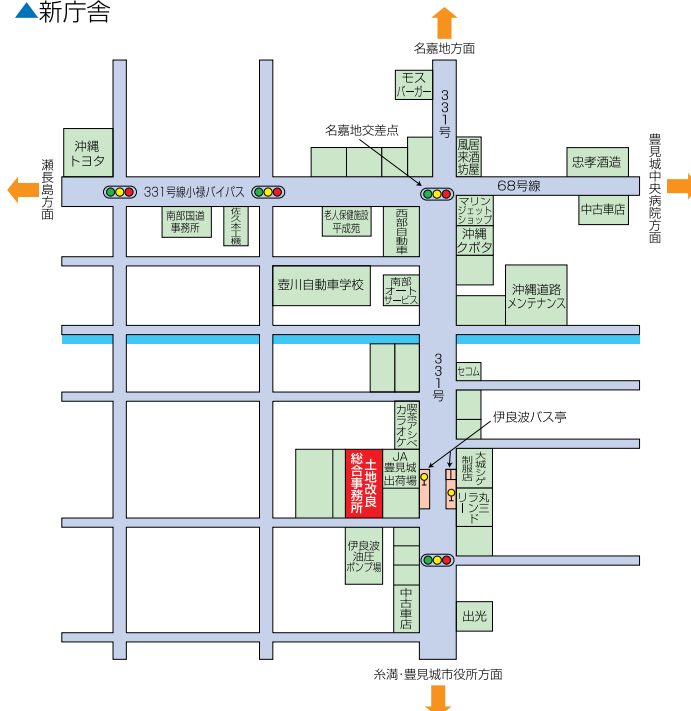
が少なくなった気がする。メディア（テレビに限らず）が情報を取り上げるときに大事だと感じているのは、今、県民が興味を持っていること、リアルに理解できるところを伝えてくれる人。そして、場所を共有して欲しいということ（酒の座でいい）。何より楽しいのは、様々な職場で新しい情報や変わった話題、変わった人物を知ることである。マスコミに働く者にとつて、人を会って、新しい人を知り合うほど楽しみはない。思いもよらない発想をもつて掻き回してくれる公務員と知り合いたい。公務員という立場で、発言が制約されるのも理解している。派手な言動ばかり目立つ人ではなく、地方と中央の間で熱き思いを伝えてくれる人である。沖縄というキーワードを一番知り尽くしているのが、総合事務局の職員ではないだろうか。およそ千人余りの職員がいるというから、沖縄で多大企業だ。言うなれば、千人のひとりひとりが、国と地方を結ぶフィード・ブレイヤーだ。コスト意識とサービス精神を兼ね備えた地域本位の行政マンを目指して欲しいわけではない。あれもこれもやるのが総合事務局の仕事の範疇だが、様々な分野で政策立案と沖縄の現状分析をしながら、ひとりひとりの個性も見える公務員になって欲しい。職員の意識改革が民間企業

でも流行語のように調われるが、あまり責任を背負わず、のんびりムードで、メディアで働く我々とも付き合って欲しい。「公務員としての責任から、ウカツに話が出来ない」「上司に責任を負わされるから、気軽に皆さんと話が出来ない」とかビジネス社会の常套句のような野暮は言わず、ドシとテレビにも登場して欲しい。報道系の番組だけでなく、バラエティ番組でもいい。歌番組で自慢の声を披露するのもいい。勿論、得意分野の仕事について、テレビ討論などにも積極的に参加するのも一考では。特に忙しいことで知られる部長クラス以上の官僚の皆さんに是非お願いしたい。県警や那覇防衛施設局の幹部の皆さんに比べると、職員のテレビへの露出が少ないように感じる。以前、お付き台をさせて頂いた、Y部長という変わり種もいたのが懐かしい。手前味噌で恐縮だが、テレビは活字メディアより優れている点も多い。最近の視聴者は、テレビに依存して情報を収集する傾向が強いのも事実だ。特に、バラエティや討論会やらに出演している人達の表情やパフォーマンスが、出演者の背景にある職場や仕事のことを理解させるシーンもあると思う。テレビ活用戦術を練ることも面白い。但し、メディア規制戦術はお断り。

沖縄総合事務局土地改良総合事務所の庁舎移転について



▲新庁舎



沖縄総合事務局土地改良総合事務所は平成14年9月24日より、現在的那覇市壺川から豊見城市字伊良波に移転しました。新庁舎は国道331号沿いにあり、空港へのアクセスが便利になっています。

なお、土地改良総合事務所では、10月8日(火)、新庁舎会議室において落成式、看板掲上式及び落成祝賀会を開催しました。



▲看板掲上式

新庁舎住所 〒901-0232
豊見城市字伊良波622番地
電話 098-856-6868
FAX 098-856-6962

Muribushi 群・星

局報 11月号

平成14年11月発行 通巻第284号

編集・発行内閣府沖縄総合事務局総務部総務課

〒900-8530

沖縄県那覇市前島2-21-7

TEL 098-866-0031・0041(代表)

FAX 098-869-6656

ホームページURL:<http://www.ogb.go.jp>

E-mailアドレス:koho@ogb.cao.go.jp

局報「群・星(むりぶし)」

群・星(むりぶし)とは、沖縄の方言で「昂星(すばる)」のことである。それは、あたかも広大な海域に点在する数多くの島々から成る沖縄を象徴している。また、群・星は沖縄の真上を運行し、昔から農事等の指針としての目安となり親しまれている。局報「群・星」も沖縄の発展の指針となり、県民に親しまれるようにと願いを込めて命名したものです。

編

集

後

記

今年上半期、冬場からの少雨傾向が長期化し五月十日には、県内のダム貯水率が、一九八九年五月以来十三年ぶりに五十%を切りました。また渇水に伴って夏場の観光シーズンを前に、八年ぶりの給水制限も危惧されました。

「水」は、私たちの生活にあたり前のように存在しています。水道の蛇口をひねると安全な飲み水が供給され、公園の噴水やプールの水等あらゆるシーンで水の恩恵を受けています。今月号では、「うちなーのみじ」について特集を組んで、水資源開発と流域連携を詳しくお伝えしていきます。常日頃から、「節水」について考えていきたいものです。

第19回 伝統的工芸品月間

図画・作文コンクール

図画部門



◆沖縄総合事務局長賞
〈全国賞:文部科学大臣奨励賞〉

題 名	琉球藍を染める人
氏 名	松田 知子
学校名	名護市立 源河小学校6年



◆沖縄県知事賞
〈全国賞:全国市町村教育委員会連合会会長賞〉

題 名	琉球紅型を染める人
氏 名	石川 瑞起
学校名	那覇市立 開南小学校6年

作文部門

◆沖縄総合事務局長賞
〈全国賞:社団法人日本民間放送連盟会長賞〉

題 名	不思議な魅力
氏 名	津波 美都里
学校名	南風原町立 南星中学校1年

◆沖縄県知事賞

題 名	伝統工芸を学んで
氏 名	源河 花乃子
学校名	那覇市立 上山中学校1年